

2024年度(令和6年度) 新体力テストの結果

生徒質問紙(第2学年)

運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか

	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い
男子	75.0	25.0	0.0	0.0
女子	100.0	0.0	0.0	0.0

保健体育の授業は楽しいですか

	楽しい	やや楽しい	やや楽しくない	楽しくない
男子	75.0	25.0	0.0	0.0
女子	50.0	50.0	0.0	0.0

運動やスポーツをどのくらいしていますか
(体育の授業をのぞく)

	週に3日以上	週に1~2日 くらい	月に1~3日 くらい	しない
男子	25.0	25.0	12.5	37.5
女子	100.0	0.0	0.0	0.0

体力・運動能力(第2学年)

	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	持久走	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
男子	28.38	18.50	46.50	47.38	41.25		8.85	166.38	15.63	30.25
女子	28.00	20.50	35.00	39.00	48.50		8.40	131.50	16.00	45.00

県平均値かつ全国平均値未満

重点課題および要因

情意面

保健体育が楽しいと感じている生徒の割合が100%であることから、昨年度同様、「できた」と成功体験が感じられる授業を引き続き実施していくことを通して、男子の「やや好き」層を「好き」に引き上げて行く。

体力面

・全体的に男女とも県平均よりも低い種目が多い。特に男子の20mシャトルランが昨年度の県平均より、約50%低いことが課題。
・体を動かす習慣が身に付いていない。

重点課題等に対応した改善する取組内容及び方法

保健体育の授業で行う取組内容

・体育の導入時に、ペアストレッチやグループでボールを使った走運動など、持久力だけに偏らない、体づくり運動の要素を取り入れた補教運動を行う。
・生徒の実態に合わせて、個別最適な授業を行い、生徒が安心して授業に参加できるようにする。

保健体育の授業以外で行う取組内容

・全校レクリエーションを継続して、運動の楽しさを味わわせる。
・外遊びを促し、体を動かす機会や場所を増やしていく。

2025年度(R7年度)の
重点目標値

・男女とも20mシャトルランでは、現在の数値より10%増加するようにする。